

○図工の教科書の題材「カラフルティッシュアート」 前時に取り組みました



カラフルデザインアートは、プログラミング教育の学習区分Bに当てはまるのではないかと考えています。今回は、手書きとコンピュータのよさを体験してほしい思いから、上記のような学習計画となっております。

○前時「カラフルティッシュアート」の様子 9/26(木) 3・4校時 実施



- ① 4つ折りしたティッシュペーパーにカラーペンで点をうって、好きな模様を描きました。
- ② 四つ折りしたティッシュペーパーを広げると、きれいな模様が広がりました。



- ③ 最初はワイワイしていたのですが、途中から真剣に描いていて、教室が静かな雰囲気になりました。



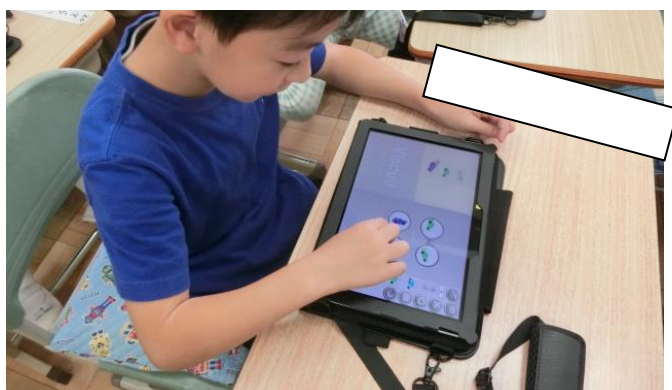
- ④ 作品を窓に貼り付けました。太陽の光できれいな模様が浮かび上がります。
- ⑤ 友だちの作品を鑑賞しました。とても楽しそうでした。

○プログラミング Viscuit に慣れるために、自分マークを動かす学習にも取り組みました。  
 図工の題材「はっけん！あたらしいなかま」に当てはまります。



○図工「自分マークをプログラミングで動かそう」の学習の様子 9/27（金）2校時 実施

- ①Viscuit を開くまでを全体で一緒に取り組む。
- ②1学期の取り組みを想起させて、ステージやめがね、ボタンについて簡単に話す。







- ③自分マークを絵でかく。早い子は複数作らせる。
- ④ステージに1つ絵を置いて、めがねで命令する方法を知り、取り組ませる。
- ⑤回すボタンを押し、めがねの右側をまわす命令を知り、取り組ませる。
- ⑥ 2つめのマークを動かしたり、工夫して動かしたりするなど自由に取り組ませる。

みんな楽しく取り組みました。ワーキヤーとの声があがり、夢中になって取り組んでいました。  
 画面いっぱい工夫して作りました。とても楽しそうでした。

- ⑦ペアやグループで自分の作品を紹介し合いました。
- ⑧最後にみんなの作品を合体させたランドを大型テレビで見せました。大盛り上がりでした。



<p>学年 教科 単元名</p>	<p>1年 図画工作 「カラフルデジタルアート」</p>
<p>教科の目標</p>	<p>プログラミングでカラフルデジタルアートに取り組み、自分の好きな模様を作ることができる。</p>
<p>プログラミングソフト</p>	<p>Viscuit</p>
<p>準備物</p>	<p>PC インターネット環境 (今回は、タブレット PC と Wifi)</p>
<p>プログラミングソフトを活用した利点</p>	<p>絵を描いてマウスのみで動かすことができる。 動く絵を作成できる。</p>
<p>成果 (児童の様子、変化など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入で見本を見せると、児童が興味関心を持った。ティッシュアートに苦手意識があった児童が特に興味を持った。</li> <li>・作り方を一つ一つ丁寧に説明すると、約30分かかった。</li> <li>・大型テレビに教師用のタブレットPC画面を写したから、指導しやすかった。児童も分かりやすかった。</li> <li>・分からないときは、タブレットPCを教師に持ってくるので、個人指導がやりやすかった。</li> <li>・作品作りのポイントを次のように提示した。『「動かす・回す・絵を変える」を組み合わせて作品作りをしよう。』提示することで図工の指導内容である作品作りの工夫と、プログラミング的思考の試行錯誤が同じ目的となった。学習分類Bを意識した授業になったのではないかと考えた。</li> <li>・好きな模様を作っている際、とても楽しそうに作品を作っていた。</li> <li>・私の想像以上に児童が工夫をして (試行錯誤して) 作品作りをしていた。</li> <li>・自分の作品を紹介する時間では、「魚がとびはねているように」「竜巻のように」「お花のように」など児童が工夫して作品を作った様子が分かった。</li> <li>・できた作品を教師がビデオカメラで撮影すると後で評価がしやすかった。</li> <li>・鑑賞では、他者の作品やプログラムを見ることで多様な作品の良さを学んでいた。</li> <li>・ふりかえりでは、コンピュータや手書きの良さに気づく発表があった。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に機器の面で課題があった。今回は、タブレットPCが1人1台あったので、実現できた。ノートPCより、タブレットPCを使い、書画カメラや無線wifi &amp; 投影ができる大型テレビがある教室が指導しやすい。児童もタブレットPCの方がViscuitを使いやすいとの声があがった。40人学級でもできるICT環境の整備。</li> <li>・Viscuitを開いた状態で、デスクトップ画面に戻る仕方が分からなかったため、児童の作品を大型テレビに投影するのができなかった。代わりに書画カメラを使った。無線投影が簡単にできると、より指導しやすい。</li> <li>・Viscuitを使い続けて1時間ほど経つと、フリーズする児童機があった。改善が必要。</li> </ul>